



通信 Aug.

暑さが厳しくなりました。塾では、新型コロナウイルス対策のため換気をしながら涼しい温度にしています。教室ではマスク着用。必要な人は飲み物もお忘れなく。

個別港学舎 舎長 八木貴子

学習状況のお知らせ

受験生は8月末から本格的に志望校の決定などがあります。今年の受験はいろいろ変化が多いので、まどわされず、やるべきことを一つ一つこなすように。志望校の情報にも気を配り調べておきましょう。

今年度は塾のお盆休みはありませんが、「密」を避けるため授業時間の変更をお願いすることもあります。日時を確認してお越してください。



八木家の食卓

オクラは一般的にはまだ新しい野菜で、一般市場に流通するようになったのは昭和50年代の事です。日本に入ってきたのは明治時代のようなのですが、沖縄や鹿児島など暖かい地方で作られて地元で消費される程度だったようです。

「オクラと豚肉の炒め物」

豚肉(肩ロースなど)薄切り:300g、オクラ:2パック(16本)、玉ねぎ:1個、シイタケ:6枚、しょうが(すりおろし):大1、サラダ油:大2、<下味>酒:小2、しょうゆ:小2、片栗粉:小2、<仕上げ>酒:大2、しょうゆ:大2、塩、コショウ:少々、ごま油:大2 4人分

①玉ねぎとシイタケは薄切りにする。オクラはヘタを取って半分の斜め切りにする。②豚肉は2cm幅に切り、酒、しょうゆをもみ込み片栗粉をまぶす。③フライパンにサラダ油としょうがを入れ、火にかける。香りが立ったら豚肉を入れて炒める。④豚肉の色が変わってきたら①の野菜を入れて炒める。



8月8日八木家メニュー

⑤野菜がしんなりしたら、酒、しょうゆを入れて混ぜ、塩、コショウで味を調える。⑥最後にごま油を入れて混ぜ、器に盛る。

世界遺産-10-石見銀山遺跡

石見銀山遺跡とその文化的景観

石見(いわみ)銀山遺跡は日本海に面する島根県のほぼ中央に位置し、石見銀の採掘・精錬から運搬・積み出しまで鉱山開発の総体を表す「銀鉱山跡」、「鉱山町」、「港と港町」、及びこれらをつなぐ「街道」で構成されています。



<銀鉱山跡>龍源寺間歩(りゅうげんじまぶ)「間歩」とは銀を採掘した坑道のことをいいます。「龍源寺間歩」は1715年に開発された坑道で、長さは600mもあります。内部はノミで掘った跡がそのままの状態に残っており、当時の作業の様子を今も見る事ができます。

<鉱山町>大森の町並み 鉱山町は南北約2.8kmの歴史的な町並みで、北側の大森の町並みは江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など歴史的な建造物や文化財が並び、当時の面影を残しています。

<港と港町>石見銀及び銀鉱石の積出港が鞆ヶ浦(ともがうら)と沖泊(おきどまり)であり、それに伴って港町として発展したのが温泉津(ゆのつ)です。鞆ヶ浦は、当時の国際貿易港博多に向けて銀及び銀鉱石を搬出した港です。また、温泉地でもあった温泉津は16世紀後半には沖泊と一体となって銀山で消費される諸物資の搬入地となり発展しました。

<街道>銀及び銀鉱石並びに諸物資の輸送路として機能したのが街道です。銀山から鞆ヶ浦に向けた街道と、銀山から沖泊に向けた街道があります。2つの街道には、通行を容易にするための道路工事の跡がよく残るとともに、道中には通行安全や病氣平癒を祈った信仰関連の石碑・石仏などが点在して残っています。

<石見銀山> 最盛期には世界の産銀量の約3分の1のかなりの部分が石見銀山で産出されたものと考えられています。銀の精錬のためには多くの木材が必要ですが、石見銀山では、採掘当時から山を崩したり森林伐採をせず、銀鉱脈に沿って狭い坑道を掘り進める採掘方法や、伐採した数と同じだけ植林を行うなど適切な森林管理が行われていました。このことは「21世紀が必要としている環境への配慮」が既に行われ、それを今の時代にも伝えられているところが世界遺産登録の重要なポイントになりました。

